



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY



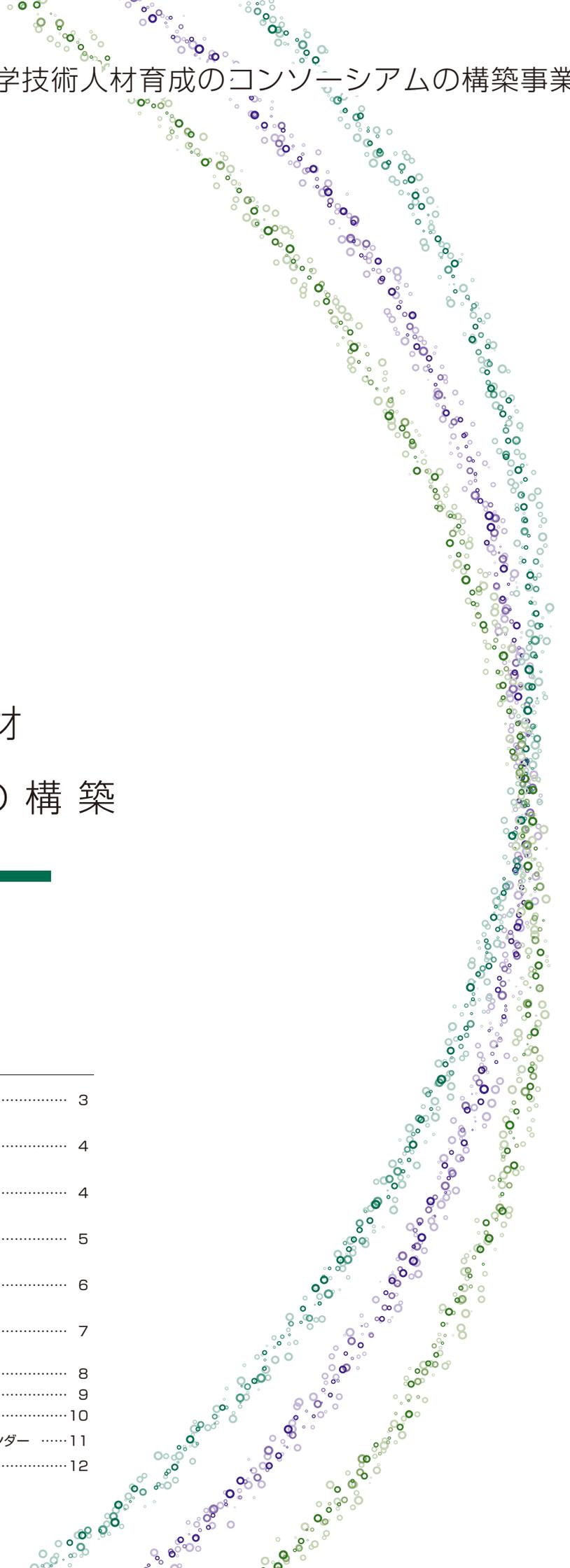
名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業

連携型博士研究人材 総合育成システムの構築

CONTENTS

●コンソーシアム発足に寄せて	3
北海道大学総長 山口佳三	
●三大学協調による若手研究人材育成をめざして	4
東北大学理事 伊藤貞嘉	
●人材育成コンソーシアムの設立にあたって	4
名古屋大学理事 副総長 國枝秀世	
●連携型博士研究人材総合育成システムの構築	5
北海道大学理事 副学長 川端和重	
1. 次世代研究者育成プログラムについて	6
北海道大学 人材育成本部 特任教授(コーディネーター) 米田純一	
2. イノベーション創出人材連携育成プログラム	7
北海道大学 人材育成本部 特任教授(コーディネーター) 樋口直樹	
2-①北海道大学の取り組み	8
2-②東北大学の取り組み	9
2-③名古屋大学の取り組み	10
H27年度イノベーション創出人材連携育成プログラム各大学イベントカレンダー	11
●連絡先	12





北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



コンソーシアム 発足に寄せて

北海道大学総長

山口 佳三

大学の第一の使命は人の育成にあります。昨今、若手研究者の活躍の場となる大学や研究機関そして産業界等は急速なグローバル化や予測できない経済変動に晒されており、グローバルな舞台で積極的に挑戦活躍できる人材をより多く育成することが、これまで以上に大学に求められております。北海道大学では、第二期中期目標・中期計画大綱において「世界水準の人材育成システムの確立」を掲げ、「入学からテニユア職獲得まで」の一貫した人材育成システムの構築を目指し、若手研究者の育成をはじめとする様々な人材育成システムの改革を進めています。

本パンフレットで紹介する「連携型博士研究人材総合育成システムの構築」もこの様な流れの中における人材育成システム改革の1つであり、本年度（平成26年度）、文部科学省「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業」に、北海道大学が代表機関として東北大学および名古屋大学とともに申請し、採択されたものです。本事業では、これらの基幹研究総合大学が、各校の研究および人材育成に関するノウハウの蓄積と資源を効果的に共有（コンソーシアムを構築）し、連携して若手研究人材を育成します。これまでに例を見ない、この新たな人材育成システム構築への挑戦に皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。





東北大学

TOHOKU UNIVERSITY

三大学協調による若手研究人材育成をめざして

東北大学 理事（研究担当）

伊藤 貞嘉

平成26年度から文部科学省が実施する「科学技術人材育成のコンソーシアム構築事業」に対し、北海道大学、名古屋大学と本学がコンソーシアムを構成して応募し、この度採用されました。本事業は、「複数の研究機関が連携してコンソーシアムを形成し、若手研究者や研究支援人材に対して、流動性を高めつつ、安定的な雇用を確保するために、国内外の研究機関、企業等とも連携してキャリアアップを図る仕組みを構築し、海外や企業を含めた多様な場で活躍する研究者と高度な研究支援人材を育成することを目的とする」もので、平成26年度から8年間の事業プログラムです。

本学においては、既に国際高等研究教育院の組織のなかで修士・博士研究教育院生を学内から公募・選抜し、若手研究者として育成するシステムが確立し、併せて博士後期課程学生やPDを対象として、高度教養教育・学生支援機構キャリア支援センター内の高度イノベーション博士人材育成ユニットにおいてイノベーション創発人材育成プログラムが進行中です。加えて、学際科学フロンティア研究所においては、国際公募によって若手研究者を募り、平成26年12月現在で31名（准教授2名、助教29名）が活躍中です。これらの学内における若手研究者のキャリアアップ支援システムは、今般のコンソーシアム構築事業と主旨を同じくするものであります。北海道大学、名古屋大学と連携を組むことにより、各大学のもつ強みを生かし、かつ相互に補完することによって、研究人材育成環境がさらに改善されるものと期待しております。

本プログラムに参加される若手研究者の皆さんには、長期海外留学、国内他大学における研修などの恵まれた研究並びに事業環境を活用し、自分のスキルアップを図り、世界に羽ばたく研究者として成長されんことを祈っております。

本事業の採択にご尽力頂いた関係者各位に厚くお礼申し上げます、また今後の発展・展開に向けて皆様のご理解・ご協力・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

本事業の採択にご尽力頂いた関係者各位に厚くお礼申し上げます、また今後の発展・展開に向けて皆様のご理解・ご協力・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



名古屋大学

NAGOYA UNIVERSITY

人材育成コンソーシアムの設立にあたって

名古屋大学・理事（研究・学生支援・入試関係担当） 副総長

國枝 秀世

この度、北海道大学ならびに東北大学とコンソーシアムをつくり、3大学が保有する充実した研究環境および人材育成のための資源を共有して、人材育成プラットフォームを構築することになりました。海外派遣や共同研究、インターンシップやキャリアパス支援、雇用期間の保証と流動性を促す仕組みの確保により、文系理系を問わず、次世代研究者やイノベーション創出人材を育成する本プログラムを実施します。この取組

は、名古屋大学が人材育成目標として常に掲げる「勇気ある知識人の育成」に合致することから、私たちは、本コンソーシアムの設立を心から歓迎します。

本コンソーシアム事業における、名古屋大学の取組の特色のひとつは、次世代研究者育成の対象者を、平成26年度と27年度については、既に本学で実施しているYLC (Young Leaders Cultivation) プログラムにおいて採用された特任助教からさらに選抜することです。これは、本学の教育研究の継続的な発展のため、助教クラスの優秀な若手教員を継続的かつ計画的に採用、養成するためのプログラムですが、多数の応募者から厳選されたYLC教員の中から、さらに本コンソーシアムへの参加によって大きく飛躍できる者をS-YLC教員として選抜し支援します。採用者は、スタートアップ経費や海外研修経費の措置を受けることにより自立的な研究環境の構築と着実な研究始動、さらに新たな研究ネットワークの構築が可能となります。一方、イノベーション創出人材の育成については、3大学で共有するキャリアパス多様化支援プログラムによって、DC学生やPDを対象とした求人情報の提供、個別面談、セミナー、企業等へのインターンシップ派遣を通じて、異分野・異文化コミュニケーション能力を育むことにより、博士人材のキャリア開拓を支援する計画です。

本コンソーシアム事業のもと、北海道大学ならびに東北大学の皆様と協働し、大学の教育・研究・運営システムの改善を進めていくことができることを大変うれしく思っております。3大学の若手研究者が、コンソーシアムを足掛かりとしてさまざまな分野で国際的に活躍してくれる日を心待ちにしております。2014年度ノーベル物理学賞受賞者である天野先生は若手研究者育成の重要性を何度も指摘されています。本プログラムもその推進の一翼を担うものと確信しています。

連携型博士研究人材 総合育成システムの構築

北海道大学 理事（産学連携本部長） 副学長
川端 和重



1. 本事業について

本事業は、北海道大学が代表機関として東北大学、名古屋大学とともに文部科学省「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者育成プログラム）」に申請、採択され、平成26年度スタートした事業です。本事業は、北海道大学、東北大学、名古屋大学の3大学が「コンソーシアム」を形成し、互いの研究人材育成資源を結集して、多様な分野を対象にした次世代研究人材育成システムを構築するものです。

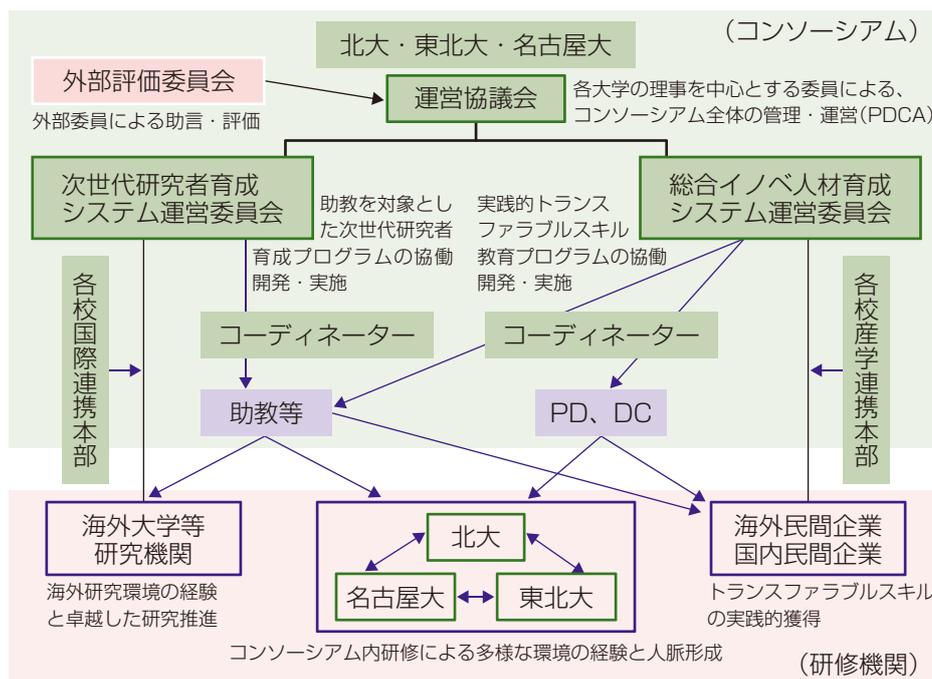
2. コンソーシアムの構想

我が国を代表する総合大学3校によるコンソーシアム、外部評価委員会、および研修先としての連携機関（海外連携大学・研究機関及び国内外の企業等）が一体となり、3大学が保有する充実した研究環境および人材育成のための資源を共有することで、博士研究人材が多様なキャリアパスを選択できる共通の科学技術人材育成プラットフォームを構築しつつ、流動性を促進する仕組みを構築しながら、次世代を担う研究者連携育成システムを確立します。

3. コンソーシアムとしての 人材育成の方針と理念

北海道大学、東北大学、名古屋大学が、これまでの研究および人材育成に関するノウハウの蓄積と資源を効果的に共有し、若手研究者の自律的環境における専門性の深化を一層促進させるとともに、国内外の多様な場においてその真価を発揮するための素養、即ち、国際性とトランスファラブルスキルを備えた次世代を担う科学技術人材の育成を行います。また、原則5年という比較的長期の育成期間を設定し、研究者として必要な基盤的素養を多角的に身につけることを促します。本事業は、任期付き助教等を対象とした「次世代研究者育成プログラム」とPD,DCを対象とした「イノベーション創出人材連携育成プログラム」の2種類のプログラムで構成されています。

連携型博士研究人材総合育成システムの構築(概念図)





1. 次世代研究者育成プログラム

北海道大学 人材育成本部 特任教授 コーディネーター
米田 純一

「次世代研究者育成プログラム」は、三大学が連携して優秀な任期付助教が任期後も継続して研究を続ける道筋をつくることを目標としていますが、目標達成のポイントはふたつあります。

ひとつは、彼らの自律的研究推進を支援することであり、具体的には三大学でこれまでに構築された若手研究者育成プログラムや研究環境を共有化するなど、コンソーシアムとしてのシナジー効果を発揮できる支援・育成システムを構築することです。それはある大学の育成プログラムを他大学にそのまま移植するとか、育成対象者が他大学の研究設備を利用するといったシンプルなことでは必ずしもなく、個々の助教のニーズや各大学各部署の実情を踏まえて、彼らが独自の発想で推進する研究を効果的に支援するための自由度のあるシステムであることが大切な要件と考えています。

もうひとつは、若手研究者にとって専門研究スキルに加えて非常に重要なスキルであるトランスファラブルスキルを習得向上させるためのプログラムを提供することです。この目的では、「次世代研究者育成プログラム」と「イノベーション創出人材連携育成プログラム (PC,DC 育成プログラム)」を効果的に連動させることが必要と考えます。「次世代研究者育成プログラム」に参加する助教等は雇用するPDのキャリア支援の一環としてPC,DC 育成プログラムを活用することもあるでしょうし、自分自身が参加して異文化コミュニケーションや企業へのキャリアパスについて検討することもあると思います。両方のプログラムの接点をどのように作り出すかは大切な検討課題です。

コンソーシアムという大きな枠組みと若手研究者が活躍する「研究・教育の現場」をどのように結び付けるかはコーディネーターの腕の見せ所です。そのためには三大学の若手研究者はもとより、事業責任者や各大学の事務関係者の方々とも丁寧なコミュニケーションを重ねて、ひとつひとつ実績を積み上げることでシステムを構築していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

1. 育成プログラム・支援内容

採用者には、スタートアップ経費として500万円/年を雇用年度より2年間支給し、自立的研究環境の構築と研究推進を支援します。着任した部署等において1名のメンターを選任し、育成対象者のスムーズな研究開始と推進を支援します。また育成期間中に原則6ヶ月の留学を義務付け、その経費等を支援します。さらに、異分野・異文化コミュニケーション能力の獲得などキャリア形成に関わる教育研修プログラムおよび合同シンポジウム等を実施します。

2. 募集・選考・採用

○公募
育成対象者（博士号取得後10年以内、40歳未満、研究エフォート60%以上）の助教候補は国際公募により募集します。現在募集中のものについては、以下参照。
<http://cofre.synfoster.hokudai.ac.jp>
○選考
候補者の選考は、各大学の1次選考で選ばれた候補者に対して、コンソーシアムにおいて総合面接等を行うことで育成対象者を決定します。



北大：伴戸教授

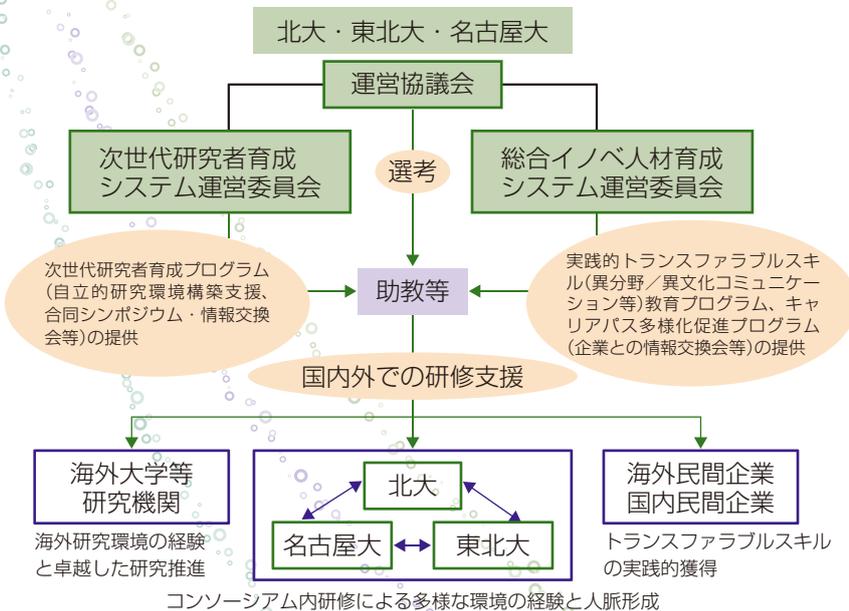


東北大：佐藤教授



名大：阿波賀教授

次世代研究者育成プログラムの概要



2. イノベーション創出人材 連携育成プログラム

【イノベーション創出人材連携育成プログラム】の趣旨

本事業の第一の部分がアカデミアにおける優秀な研究人材を三大学で協働して育成することに主眼を置いていますが、第二の部分は、もう少し若い世代の博士課程学生(DC)や博士研究員(PD)に対するキャリアパス多様化促進に資する各種プログラムの、連携型への移行と発展であります。

理工系のDCやPDはアカデミア志向、つまり研究者として生き抜く場所は大学等のアカデミア機関しかないとの思いが強くなる傾向があります。しかしながら大学院重点化以降に増加したこれら多くの若手研究人材をアカデミアだけで吸収することはポスト数の現状に鑑み難しいところです。彼らDC・PDDが視野を広く持ち、獲得した知識やスキルをいかに発揮できる分野へ積極的に打って出るためには、産業界などアカデミア以外で挑戦しようという彼ら自身の意識改革の取り組みと、そのような活躍の場の正確な情報が必要であることは明白であります。

過去数年にわたり、連携する三大学では文部科学省の支援を受けながらそれぞれが独自にDC・PDに対する意識改革の取り組みや情報やマッチングの場の提供など、育成のプログラムを構築し推進してきました。それにより多くのDC・PDが海外を含むアカデミア以外の民間企業や研究機関において、その活躍の場を見出し獲得し、実績も上げ始めています。しかしながら各大学単独での施策には経費面や要員面での制約はもとより、各大学の立地や在籍するDC・PDの属性の特徴など、個別の条件も重なって、多方面での施策の展開にはおのずと制約が出てきます。

このような制約を超えた施策を実施するため、本事業では連携する三大学の持つそれぞれ特徴のある有益なプログラムを共同開催、参加枠提供、相互乗り入れや配信などの手段を用いて共有化し、お互いの施策を補完することを始めます。



東北大：高橋主幹



名大：河野教授



コーディネーター：(兼) 北大：樋口教授

【イノベーション創出人材連携育成プログラム】概要

①育成内容

3大学が開発してきた若手研究者(ポストドクター、博士後期課程学生等)に関する独自の人材育成プログラム(データベース、企業を知るためのセミナーや企業等との密接なマッチングシステム等)を連携させ、コンソーシアム内で若手研究者が自由に参加できる仕組みを構築し、育成対象者にはこれらのプログラムへの参加機会を与えるとともに、多様な企業等でのインターンシップ実施を支援します。

②募集・選考・採用

育成対象者は、特にアカデミア以外でのキャリアパスを志向し、意識高く情報を収集しようとする若手博士研究人材を対象に、公募・推薦等により募集し、コンソーシアムにおいて決定します。詳細は以下参照。



- 【協働して実施する各機関のプログラム】
- 北海道大学：人材育成本部
上級人材育成ステーション (S-cubic)
<http://www.sci.hokudai.ac.jp/s-cubic/>
 - 東北大学：高度イノベーション博士人材育成ユニット
<http://www.ilp.tohoku.ac.jp/>
 - 名古屋大学：社会貢献人材育成本部
ビジネス人材育成センター
<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/graduate/career/>



北海道大学で博士人材の支援を担当しているのは、人材育成本部・上級人材育成ステーション (S-cubic) です。当ステーションでは博士後期課程学生 (DC) や博士研究員 (PD) のための登録制WEBシステムの構築と、それを介した各種意識改革プログラム (講義やセミナー・演習など) の実施や、企業と博士の直接人材交流マッチング、企業訪問によるシーズ/ニーズマッチング、さらには博士力実践インターンシップによる企業経験の支援など多くのコンテンツを提供し、博士人材の社会での活躍の多様化を支援しています。これらの施策は博士人材の意識改革から実践的プログラムへとレベルアップし、最終的には起業での活躍を目指すものです。

本プログラムではこれらコンテンツのうち、セミナーなどのリアルタイム配信やオンデマンド提供、またマッチングイベントなどの共同開催、参加枠提供、相互乗り入れを積極的に推進していきます。

具体的に共有・協働可能なものとしては、

- Hi-System (博士のための情報提供WEBサイト) ■J-window (博士のための進路相談窓口)
- キャリアマネジメントセミナー (MOT関連講義；技術経営的コンテンツ)
- キャリアパス多様化支援セミナー (単回セミナー；理工系博士の研究職以外の可能なキャリア紹介等)
- Advanced COSA (2日間集中；企業の研究開発の実際を知る企業人によるセミナー)
- 赤い糸会&緑の会 (1日集中；企業人を招いての博士人材との直接マッチング)
- 博士力実践インターンシップ (2か月以上；実際に企業での研究開発業務に携わる)

などがあります。



Advanced COSA

(企業研究の実際を知るための企業人によるセミナー)

現役の企業の研究所長クラスの方に企業における研究開発の実際と、その方自身の研究者としての人生を語っていただく貴重な機会です。アカデミア研究と企業研究の違いや、企業における博士人材の活用や活躍ぶりなどもお話しいただけます。



キャリアマネジメントセミナー (MOT 関連コンテンツの授業)

企業就職を目指す DC や PD 向けのひとコマ毎の読みきりタイプの授業です。企業における研究開発の方法、大学と企業の違いは何か、企業はどのような考えで事業を推進するのか、イノベーションはどのように起こしていくのか、企業で要求されるリーダーシップやチームワークとは何か、など実践的な内容です。

赤い糸会&緑の会 (博士研究者と企業の直接交流；マッチング)

博士研究者と企業が人数を絞って直接交流し、お互いの思いを直接ぶつけあいます。企業からは新規テーマや必要とするスキルや博士人材像のプレゼン、博士研究者からは専門性やスキル、人物像まで含めたポスター発表でアピールします。その場でインターンシップの内定もあります。



企業からのプレゼン



博士からのポスタープレゼン



企業ブースでの交流

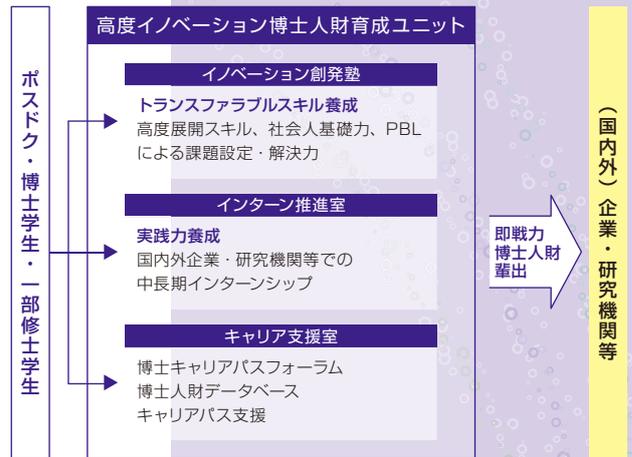




本プログラムは、広い視野とマネジメントスキルやコミュニケーション力などの社会人基礎力、PBLによる課題設定・解決力などを習得し、自ら起業家を目指す人材、産業界でイノベーション創出を目指す人材など、研究室で培った高度専門知識・技術をベースとしたイノベーション創出人材を育成すると共に、即戦力となる高付加価値博士人材を社会に輩出するものです。

イノベーション創出塾でのトランスファラブルスキルの習得に加えて、中長期インターンシップにより実践力の習得が出来ます。キャリア支援室では、専門スタッフが収集した求人情報に基づき、ベストマッチングを実現する強力なサポートをしています。

(PBL: Project Based Learning プロジェクト学習)



(国内外) 企業・研究機関等

即戦力博士人材輩出

中期インターンシップとベストマッチングのためのキャリア支援



- ◆中期インターンシップ制度
 - 国内外企業・研究機関にて1~3ヶ月間
 - 旅費・日当・滞在費等の支給は別途相談
 - 指導教員の許可と受入先でのマッチング審査あり



キャリアパスフォーラムでの企業説明会(左下)と、交流会(右下)風景

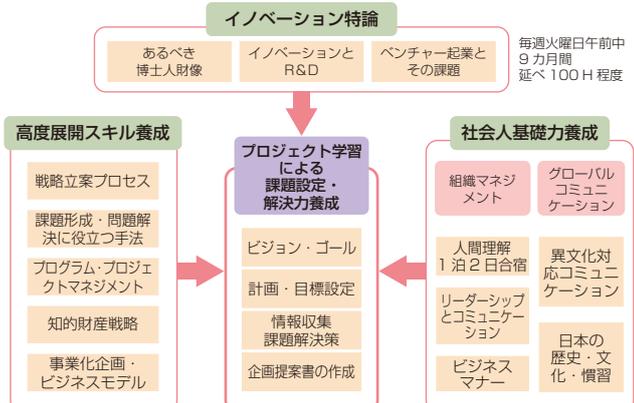
- ◆キャリアパスフォーラム
 - 企業における博士のキャリアパスと業界内容の理解
 - 年1回開催、100名程度参加
- ◆キャリア支援面談
 - 専門スタッフによる個別面談
 - 個を重視したキャリアパス支援

- ◆自信をつける
 - 自己の強みや可能性の発見
 - 自己の進むべき方向の明確化
 - 「応募書類4点セット」の作成指導
- ◆出会いの場の設営
 - 博士キャリアパスフォーラム開催
 - 企業訪問による開拓と求人情報収集
 - 就職希望者情報データの整備と提示

即戦力博士人材育成を目指すイノベーション創出塾

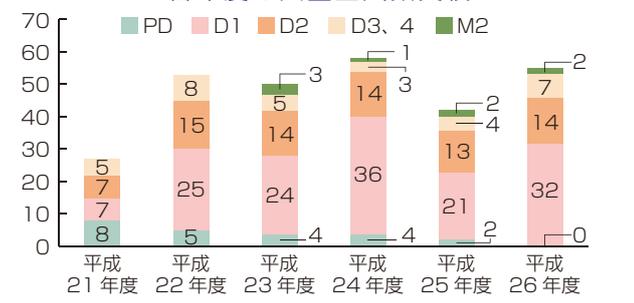
- 研究科の枠を超えた異分野同士の博士交流・ネットワーク形成できます。ほぼ全研究科から学生が参加しています。
- 話し合い形式ではなく合宿、チームワーク、グループワーク中心
- 課題形成・問題解決能力とノウハウの習得ができる創造性啓発講座です。

カリキュラム構成



◀ 塾講義状況
▲▼ PBL 公开发表会

各年度の入塾生人数実績



担当窓口 東北大学高度教養教育・学生支援機構
 キャリア支援センター 高度イノベーション博士人材育成ユニット
 E-mail: high-ca@bureau.tohoku.ac.jp Tel: 022-795-3231

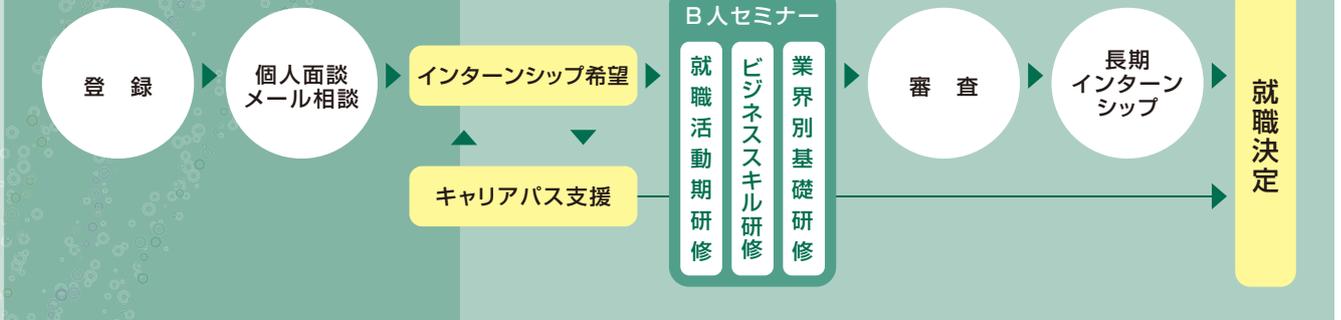
2-③名古屋大学

【イノベーション創出人材連携育成プログラム】



名古屋大学 社会貢献人材育成本部 ビジネス人材育成センターでは、ポストドクター・博士課程後期課程学生を中心とした若手研究者のキャリアパス支援（個人面談、B人セミナー、長期インターンシップ、企業情報の提供等）を実施しています。

支援の流れ



個人面談・メール相談

登録後、個人面談またはメール相談からキャリアパス支援が始まります。ビジネス人材育成センターでは、個人個人に応じた支援ができるよう、個人面談・メール相談を重要視しています。面談やメール相談を繰り返し、キャリアプランを明確にしていきます。



長期インターンシップ

企業と大学がコミュニケーションを取り、協力して人材育成を行うプログラムで、就職や視野を広げるための実地研修です。期間は2ヶ月程度、長期インターンシップ中は名古屋大学の研究員として雇用します。若手研究者各自が積極的に企業研究をし、インターンシップを実施するよう支援します。この長期インターンシップは、単なる“体験”ではなく、社員と同様に実際の仕事に携わることで、実務的な知識や技術を学ぶことが出来、キャリアに活かすことができます。

B人セミナー

ビジネス人材育成センター登録者向けのセミナーとして企画されていますが、ポストドクター・博士課程後期課程学生であれば、どなたでも参加可能です。

前期・後期の2ターム制、名古屋大学東山キャンパス内で開催します。社会で必要とされている、キャリアデザイン力、コミュニケーション能力、論理的思考力（ロジカルシンキング）を中心とした内容です。また、業界の情報が入手できるセミナーもあります。

なお、所属が名古屋大学以外の方は、セミナーの事前参加登録と併せて当センターへの登録が必要です。



企業と博士人材の交流会

●ポスターセッション

学会発表で同じ専門分野の研究者への説明には慣れている博士たちが、専門外の企業人に自らの研究成果を判り易く説明することを体験します。平日頃交流の少ない企業-博士間における“異業種交流”でもあります。

●合同企業説明会

参加企業各社による2分間のPRスピーチに続き、各企業ブースで1回あたり30～40分間の企業説明・質疑応答を3～4回入替制で行います。



その他の支援

- 多彩な分野で活躍する方々の話を聞くこともできます。
- セミナーのお知らせ等、これからのキャリアを考えるために役立つ情報を中心にメルマガを配信しています。（登録者限定）

名古屋大学 社会貢献人材育成本部 ビジネス人材育成センター
<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/graduate/career/>
E-mail: b-jinsupport@aip.nagoya-u.ac.jp TEL: 052-747-6490



H27年度イノベーション創出人材連携育成プログラム 各大学イベントカレンダー



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

H27年度
イベントスケジュール

日 付	内 容
4～7月毎週月曜日	キャリアマネジメントセミナー(第4限)
6月19日(金)	キャリアパス多様化支援セミナーI(知的財産)
8月10日(月)-11日(火)	Advanced COSA(1)
9月11日(金)	キャリアパス多様化支援セミナーII(交渉学)
10月1日(木)	第1回赤い糸会・札幌
11月19日(木)-20日(金)	Advanced COSA(2)
12月8日(火)	第2回赤い糸会・札幌
H28年1月22日(金)	シンフォスターシンポジウム
H28年1月下旬(予定)	キャリアパス多様化支援セミナーIII
H28年2月中旬	第3回赤い糸会・東京



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

H27年度
イベントスケジュール

日 付	内 容
5月～	イノベーション創発塾(4月公募開始～選考)
8月下旬	キャリアパスフォーラム
以下未定	



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

H27年度
イベントスケジュール

日 付	内 容
4～7月隔週土曜日	B人セミナー：前期(5回)
7月下旬	博士のキャリアパスシンポジウム
8月下旬	企業と博士人材の交流会
10～1月隔週土曜日	B人セミナー：後期(5回)
以下未定	

■運営協議会事務局

北海道大学 人材育成本部 連携型博士研究人材育成推進室

〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西5丁目

TEL 011-706-2271 FAX 011-706-3584

e-mail : cofre@synfoster.hokudai.ac.jp URL : <http://cofre.synfoster.hokudai.ac.jp>

■各機関事務局



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

次世代研究者育成担当（助教）
北海道大学 人材育成本部
連携型博士研究人材育成推進室

〒060-0808
北海道札幌市北区北8条西5丁目

TEL 011-706-2271
FAX 011-706-3584

e-mail : cofre@synfoster.hokudai.ac.jp
URL : <http://cofre.synfoster.hokudai.ac.jp>

総合イノベーション人材育成担当（DC・PD）
北海道大学 人材育成本部
上級人材育成ステーション（S-cubic）

〒060-0808
北海道札幌市北区北8条西5丁目

TEL 011-706-3275
FAX 011-706-3584

e-mail : s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp
URL : <http://www.sci.hokudai.ac.jp/s-cubic/index.html>



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学

TOHOKU UNIVERSITY

次世代研究者育成担当（助教）
東北大学学際科学フロンティア研究所
事務室

〒980-8578
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

TEL 022-795-5757
FAX 022-795-5756

e-mail : office@fris.tohoku.ac.jp
URL : <http://www.fris.tohoku.ac.jp>

総合イノベーション人材育成担当（DC・PD）
東北大学高度教養教育・学生支援機構
キャリア支援センター
高度イノベーション博士人材育成ユニット

〒980-8579
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04
工学研究科内 青葉記念会館

TEL 022-795-3231
FAX 022-795-3232

e-mail : high-ca@bureau.tohoku.ac.jp
URL : <http://www.ilp.tohoku.ac.jp>



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

次世代研究者育成担当（助教）
名古屋大学
高等研究院

〒464-8601
愛知県名古屋市千種区不老町1番地

TEL 052-788-6051
FAX 052-788-6151

e-mail : iar@adm.nagoya-u.ac.jp
URL : <http://www.iar.nagoya-u.ac.jp>

総合イノベーション人材育成担当（DC・PD）
名古屋大学 社会貢献人材育成本部
ビジネス人材育成センター

〒464-8601
愛知県名古屋市千種区不老町1番地

TEL 052-747-6490
FAX 052-788-6002

e-mail : b-jinsupport@aip.nagoya-u.ac.jp
URL : <http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/graduate/career/>